

留 学 報 告 書

記入日:2020年2月16日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	トルコ共和国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 中東工科大学 現地言語: トルコ語
留学期間	2019年09月～2020年2月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	経営学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年2月14日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月中旬～2月上旬 2 学期: 3 学期: 4 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	26500人
創立年	1956年

留学費用項目	現地通貨 ()	円	備考
授業料		0円	
宿舍費		2万5千円	寮費
食費		10万円	自炊・外食代
図書費		1万円	
学用品費		1千円	ペン・ノート
携帯・インターネット費		2千円	SIMカード
現地交通費		0円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		15万円	国内・海外旅行
被服費		3万円	
医療費		円	
保険費		3万円	形態:
渡航旅費		12万円	
ビザ申請費		2千円	
雑費		2万円	交通費・日用品
その他		円	
その他		円	
合計		49万円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:東京 目的地:アンカラ 経由地:カタール 復路 出発地:リスボン 目的地:東京 経由地:モスクワ	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:カタール航空 料金:7万5千円 復路 航空会社:アエロフロート 料金:4万5千円 ∴合計:12万円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:航空会社 HP より) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Refika aksoy yurt) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学の斡旋	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
非常にストレスfulな生活であったが賑やかで良い経験になった。安いのでオススメです。	
現地情報	
1)留学期間中, 病気やケガをしましたか。した場合, どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中, 学内外で問題はありましたか。あった場合, 誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し, どのような防犯対策をしましたか。また, 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
大使館からの情報共有、現地通の方々から人伝いに直接収集した。危ない思いをしたことはなかった。	
4)携帯電話や, インターネットについて, 現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので, 寮で使用できない時はカフェに行った。)	
全く問題なかった。	
5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また, クレジットカードも併用していた。)	
日本で作ったデビットカードで生活した。基本的にカードが使える社会だったので問題なかった。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。	
日本食であれば味噌とだし。また歯磨き粉(歯が敏感な人は特に)や化粧水などは重宝した。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 留学生の人数制限あり	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Energy Business	エネルギービジネス
科目設置学部・研究科	経営学部
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が1回
担当教授	フズ・タイフン教授
授業内容	エネルギー産業の基本知識や再生可能エネルギーの将来性とその問題について学ぶ授業。授業内容は各発電方法の良し悪しやエネルギーの輸送方法などの基本的なことから、市場の動向から考える電力価格の計算方法や再生可能エネルギーの問題点など多種多様に渡った。ある時は住民・政府・電力会社と3つのグループに分かれ巨大な地図を広げ、風力発電所建設についての議論を行った。またある時はヒルトンホテルまで行きビジネスパーソンが集う再生可能エネルギーのコンフェレンスに出席した。
試験・課題など	事前に EU のエネルギー市場報告書や再生可能エネルギーに関するレポートなど事前読書課題の量が多く大変で難しかった。試験は抽象的な問いが多く非常に難しかった。覚えるだけでは通用せず覚えた知識をどう生かすかを問われる。ただ問題は発電・輸送方法に関する現実に起きていることなので学生に考えて欲しいという教授のメッセージが伝わった。
感想を自由記入	毎週とても濃い 3 時間だった。経済やビジネスの専門用語を理解するのは非常に苦労したが、エネルギー問題について世界中の学生と議論できたのは良い経験になったと思う。受講人数を絞っている為、人数が少なく刺激的な授業だった。また企業の方が来校し教鞭を取ってくれることもあり、バラエティーに富んだ授業であった。エネルギーは誰も消費しているものなので学べてよかったと感じる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Beginning Turkish		初級トルコ語	
科目設置学部・研究科	言語学部		
履修期間	秋学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が2回		
担当教授	デニズ教授		
授業内容	トルコ語の基本的な表現や文法について学ぶ。日常会話に必要なトルコ語を学び会話やプレゼンテーションを行う。		
試験・課題など	毎週習ったところの復習が主な課題。試験も教授から指示があるので話を聞いて勉強すれば取れる。		
感想を自由記入	大学外は基本英語が通じないので生活する上で非常に有益だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Spoken English		プレゼンテーション英語	
科目設置学部・研究科	言語学部		
履修期間	秋学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	ヌルダン教授		
授業内容	会話やスピーチの際の身体表現を知りより効率的に相手に意図を伝える方法を学ぶ。最終的には自分がTEDスピーカーのように話すことが求められる。		
試験・課題など	毎週何かしらの課題が出る。留学生に対する聞き取り調査など課題に対してレポートを書く。		
感想を自由記入	途中から他に受けたい授業を見つけたので注力することはなかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Turkish Society		トルコ文化講座	
科目設置学部・研究科	言語学部		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	毎回異なる		
授業内容	トルコ文化について学ぶ。各回テーマが異なり1学期通して、トルコの文化を様々な面から学ぶことができる。食文化の回では実際に料理を作ったり、また美術史の回では映画を見たりした。		
試験・課題など	学んだことを何かしらの形で表現する。試験の代わりにプレゼンテーションを行う。		
感想を自由記入	文化的な面を学術的に学べたので非常に興味深かった。学んだ後は街中の景色や食べ物に対して見方が変わったと感じた。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・留学先の選定 ・お金を貯め始める
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> ・志望校を中東工科大学に決定 ・留学していた方の話を聞く
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL を受ける
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・留学に必要な書類を作成 ・留学選考→クリスマス前に合格通知を受け取る
2019年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・滝業 ・中東工科大学への出願 ・トルコ語の勉強
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> ・トルコに対する知識を増やす(宗教・政治・文化など) ・日本の歴史や政治経済、社会システムについて勉強し直す ・教育実習 ・ランニングと懸垂 ・航空券購入
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・島にて修行 ・OB、OG 訪問 ・9 月前半に渡航
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・中間試験 ・アンカラ日本人忘年会
2020年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・アンカラ日本人新年会 ・期末テスト ・トルコ国内や周辺国を旅行 ・帰国し就職活動
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記(任意)

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

1 交換留学を決めた理由

主にエネルギー産業の基本知識を学ぶべく留学を志した。コストの面から交換留学という手段を考えていたので、事前に興味のある協定留学先のシラバスを閲覧し目的に該当する授業の有無を調べた。授業が開講予定だったことに加え担当教授が学者でもありビジネスパーソンでもある教授の経歴に興味を持った。これらの理由から中東工科大学への出願を決めた。

2 トルコへ

上記の理由に加え自分が今まで最も関わりのなかった異文化に行きたいと考えていた。その際にイスラーム教徒が国民の大半を占めアジアとヨーロッパを結ぶトルコという国に魅力を感じた。また今まで味わったことのない美味しい料理が食べたいという理由が決め手となった。

3 留学準備

語学力向上(主に英語)とお金を貯めることに注力していた。英語学習では主にウォーキング・デッドやグリーなどアメリカンドラマを見ていた。もはや趣味になっていたので夢にドラマのゾンビが出てくるくらい視聴を続けていた。ルームメイトによると私は夜中うなされていたらしい。

4 留学先での活動

主に学業、部活、課外活動に分かれる。

学業では履修授業の受講がメインだった。授業内容が高度で難しく大変であったが充実していた。日本にいるときには馴染みのなかった国の友人と交流できたのは良い経験になった。また言語学習の一環として他大学の「会話クラブ」なるものに参加していた。

部活は柔道部に入部していた。日本の国技が海外でどう変容しているのか興味があったからだ。トルコ人はもちろん、イラン人やエジプト人などの屈強な友人達と体で交流できたのは良い思い出である。

課外活動として主に旅行をしていた。周辺諸国への渡航が安く手軽だったからだ。旅行先で各国の喫茶文化や歴史的建造物などを自分の目で見ることが楽しみの一つだった。またトルコでは豚肉がほとんど入手できなかったので旅先のジョージアで食べた豚肉料理には涙が出そうになった。

5 トルコでの生活

印象的だった出来事は切りが無いが主に2点、料理の美味しさと人に恵まれた事は確かだった。

まずとにかくご飯が美味しかった。そのため大学を抜け出し街にでて外食することが何よりの楽しみだった。「お気に入りのお店へ(主に肉料理が多かった)行く→トルコスweets専門店→ハマム(トルコ式のお風呂)」のコンボをよくキメていた。

出会った留学生やクラス、ルームメイト、そして現地のトルコ人の友人たちは言うまでもないが、トルコ在住の日本人の方々から非常に良くしていただいた。社会人(日系企業の方や学者、大使館の方など)の方々からビジネスや現地のお話を伺ったり、また人生相談を受けていただき多くのことを学んだ。日本人が少なく人との距離が近かった?トルコだからこその良かった面だと考えている。

困難

留学して2~3ヶ月くらい経った頃、自分でも引くくらいイライラしていた。部屋の環境や文化の違いなど原因は様々だが、時間とともに違った価値観を受け入れられるようになった。留学を振り返ってみてこの部分は1番成長できた点だと感じている。

最後に

私にとってトルコのアンカラは留学するにはとても良い場所でした。目的は人それぞれ違うと思いますが、この留学報告書が留学を志す誰かを後押しできることを切に願っております。疑問点等御座いましたらご連絡頂ければ幸いです。